

氏 名	佐々木 源
学位の種類	博士 (医学)
学位記番号	甲第 1251 号
学位授与の日付	2021 年 3 月 21 日
学位授与の要件	学位規則第 4 条第 1 項該当
学位論文題目	Clinical and radiological assessment of the induced membrane technique using beta-tricalcium phosphate in reconstructive surgery for lower extremity long bone defects (下肢長管骨骨欠損に対する再建術に $\beta$ -TCP を使用した induced membrane technique の臨床的および放射線学的評価)
指 導 教 員	教授 渡部 欣忍 (板橋・整形外科学講座)
論文審査委員	主査 教 授 安井 哲郎 (溝口・整形外科) 副査 教 授 緒方 直史 (板橋・リハビリ) 副査 病院教授 市ノ川 義美 (板橋・形成口腔)

## 論文審査結果の要旨

主論文「Clinical and radiological assessment of the induced membrane technique using beta-tricalcium phosphate in reconstructive surgery for lower extremity long bone defects」は、申請者を筆頭著者とする共著論文であり、The Bone & Joint Journal に掲載されることが決定している。この論文の作成には申請者が主たる役割を果たしており、申請者が学位論文として使用することにつき共著者全員が同意している。

開放骨折や骨髄炎により生じた骨欠損の再建法として induced membrane technique(IMT)は優れた手法である。この手法には自家骨を採取し骨欠損部に充填するプロセスが含まれるが、自家骨採取量に限界があるため治療できる骨欠損の大きさに制限がある。

申請者らは、IMT において骨補填材料である  $\beta$ -TCP を自家骨と混合して用いることを立案・実践し、その臨床成績およびX線学的成績を調査した。その結果、成績が良好であったこと、および骨欠損の大きさや部位による治療成績の統計学的な差がなかったことが分かった。

本研究の優れた点は、骨欠損に対する IMT の適応を拡大させる手法を開発しその有用性を明らかにしたことである。研究の限界としては、後方視的研究であること、症例数が少ないこと、コントロール群がないことが挙げられる。

2021 年 1 月 4 日に行われた学位論文審査会において、申請者は当該領域の十分な知識と経験を有していることが確認された。

以上から、学位授与に値すると判断した。